

Rōgaku

文京区立森鷗外記念館NEWS

No.47

2024年6月 文京区立森鷗外記念館編集・発行(年4回発行)

の夜月麗に魚白

十月三日	戊戌	火曜
十八日、陰。	朝杏奴、類熟退く。麻疹の	
疑あり。黒田清輝を訪ひて、小金井せ		
い子の事を語す。妻女來局す。伊庭孝		
來て劇場を請待す。き人々の事を協議す。本堂恒次郎を訪ひて、物と大		
岐家を返さんことを語る。鹿嶋の		

坂峠地の士蘇

(外天) 影の月やるなにつ一とこだ飯

寒暖	天氣	月曜
信 要		十七日、夜來春雨。柳田國男來て園木
信 要		千秋の事を托す。其の間に話あり。杏奴、類熟あり。本堂恒次郎を還す。鈴木

三月

八〇

(年七十治明) く置を局調度制に中宮

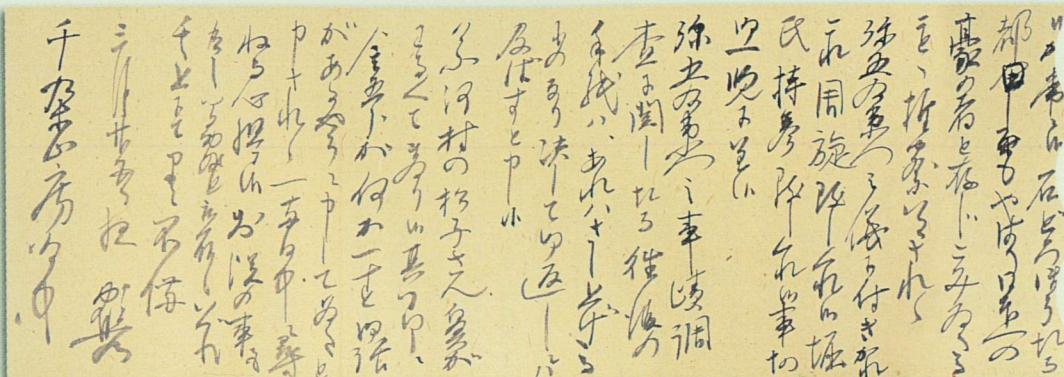
『鷗外日記』大正2年3月17日

展示のお知らせ

「鷗外の『意地』のはなし」

——歴史小説『阿部一族』を中心に——

コレクション展



賀古鶴所筆鷗外宛書簡 大正2年3月25日
鷗外の親友・賀古は「弥五右衛門之事績調査」に関する手紙を鷗外に提供していたという。

森鷗外が歴史小説の執筆を始めたのは、大正元年9月13日、明治天皇大葬の日に陸軍大将・乃木希典が殉死したことなどがきっかけです。わずか5日後、初めての歴史小説『興津弥五右衛門の遺書』を書き終え、続けて『阿部一族』『佐橋甚五郎』を執筆しました。同2年、この三作品を収録した初めての歴史小説集『意地』(精山書店)を刊行します。既に文学者として豊熟期を迎えていた鷗外ですが、「観察」「時代の背景」「心理描写」に重点を置き、「新らしき意味に於ける歴史小説」(鷗外『意地広告文』)を試みました。

初めての歴史小説集『意地』(精山書店)を刊行します。既に文学者として豊熟期を迎えていた鷗外ですが、「観察」「時代の背景」「心理描写」に重点を置き、「新らしき意味に於ける歴史小説」(鷗外『意地広告文』)を試みました。

『興津弥五右衛門の遺書』『阿部一族』では細川氏(熊本藩主)や家臣、『佐橋甚五郎』には徳川家康と家臣が登場し、それぞれが抱える意地が描かれています。鷗外は歴史に埋もれた逸話を小説に蘇らせることで、自らが生きる時代や社会と向き合いました。

大正時代の鷗外が執筆した江戸時代の物語を、現代の私たちが読むことで何が見えてくるでしょうか。館蔵資料や作品を読んだ文学者たちの言葉などをとおして、鷗外の『意地』のはなしの入り口へと案内します。

展示会会場から

鷗外自画素焼皿

211×211×35mm [100016]

縁の「1.JANUAR 1913.」、「MR(鷗外の本名・森林太郎の頭文字)」、中央のみみずくは、鷗外の手によるもので、『鷗外日記』大正2年1月12日に「上山草人樂焼を持ちて來訪す。Faustの校正刷を与ふ」と記された「樂焼」がこの皿です。

上山草人は、俳優を志して坪内逍遙の文藝協会に参加し、明治45年、伊庭孝らと近代劇協会を旗揚げし、座長を務めています。上山の自伝的小説『蛇酒』では、主人公に陶器の趣味があり、「田端の板谷無山から樂焼の伝授を受け」、自宅に大きな窯を造っていたとあり、この皿との関連を想像させますが、詳細は不明です。

大正2年1月5日夜 上山は伊庭孝らと共に初めて鷗外の元を訪れました。同月7日には、鷗外が翻訳したゲーテ『ファウスト』第一部の上演許可を伊庭と共に求めています。『ファウスト』は近代劇協会により同年3月27日から31日に帝国劇場で上演され、鷗外は27日に長女・茉莉と共に観劇しました。

この資料は、常設展示部分でご紹介しています。

縁の右下部にあるサイン



参考文献・『鷗外日記』(『鷗外全集』35巻 岩波書店 平成元年2刷)、森於菟砂に書かれた記録(『鷗外』1号 昭和40年10月)、出口智之監修『森鷗外宛書簡集 文京区立森鷗外記念館所蔵』4文京区立森鷗外記念館令和3年、上山草人著『煉獄』新潮社 上山草人著『煉獄』新潮社 大正7年

石黒忠憲筆 鷗外宛葉書

大正2年6月22日 [505025]

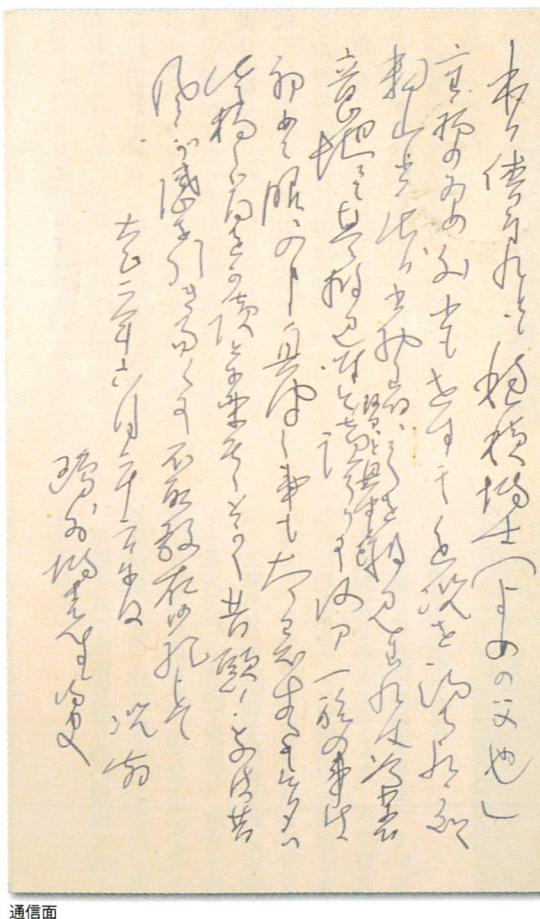
石黒忠憲(号・況翁)弘化2年(昭和16年)は近代軍医制度の成立に関わり、大きな影響力を持った陸軍軍医です。

この頃は既に退官していましたが、かつては鷗外の上司でした。

一週間前に刊行されたばかりの鷗外の歴史小説集『意地』(大正2年)を、出

版社の精山書店から送られた石黒は、収録作品のうち『阿部一族』『興津弥五郎』の『佐橋甚五郎』を読み終わり、夕刻から

『佐橋甚五郎』を読む予定であることを伝えています。石黒は前年10月2日に『興津弥五右衛門の遺書』がどの雑誌に掲載されたのかを鷗外に問い合わせており、鷗外が乃木希典の殉死に反応して執筆した歴史小説に注目しているとみられます。本葉書はコレクション展「鷗外の『意地』のはなし——歴史小説『阿部一族』を中心に」に展示します。



〔宛名面〕
市中本郷区駒込二丁目木町 だんご坂上 森董医物監閣下
東京市牛込区高塚町十七番地 石黒(住所印)
〔通信面〕

重病の為め外出もせず候 近況を待つ居候處へ
精山書店より書物着、そを拝見すれば尊著

一族の事は 初めて眼に入申候 興津之事も太息に候 今夕ハ
佐橋之篇を可讀と相樂居候 とかく昔顧候ものは昔
風が感を引く候 不取敢右御礼申上候
大正二年六月二十日午後 况翁

鷗外博士先生侍史

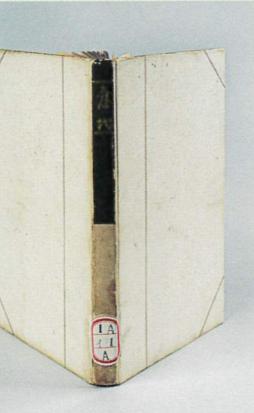
講演会「鷗外にとつて歴史史料とは」
鷗外は史料を尊重し「歴史其儘」に書きましたが、歴史事実とはかなり異なります。依拠史料から理由を探ります。
講師 藤田覚氏(東京大学名誉教授)
日時 8月31日(土) 14時～15時30分
料金 無料(参加票と本展観覧券(半券可)が必要)
申込締切 9月2日(月) 必着

朗誦会「『阿部一族』を読む」
講師 内木明子氏
(朗誦家、早稲田大学・相模女子大学非常勤講師)
日時 8月31日(土) 14時～15時30分
料金 1500円
申込締切 8月19日(月) 必着

大学生有志によるギャラリートーク
学芸員による子ども向けギャラリートーク
ワークシートを手に、当館学芸員と共に鷗外の生涯(常設展示)をめぐります。申込不要、当日の展示観覧券が必要です。
展示室にて大学生有志がコレクション展の展示解説を行います。申込不要、当日の展示観覧券が必要です。
対象 小学校4年生から

学芸員による子ども向けギャラリートーク
ワークシートを手に、当館学芸員と共に鷗外の生涯(常設展示)をめぐります。申込不要、高校生以上の方は当日の展示観覧券が必要です。
展示室にて大学生有志がコレクション展の展示解説を行います。申込不要、当日の展示観覧券が必要です。
対象 小学校4年生から

明治座で上演された『阿部一族』(『演芸画報』大正2年6月号)の脚本は劇作家・山崎紫紅による。脚色は劇作家・山崎紫紅による。脚色は劇作家・山崎紫紅による。



活動報告

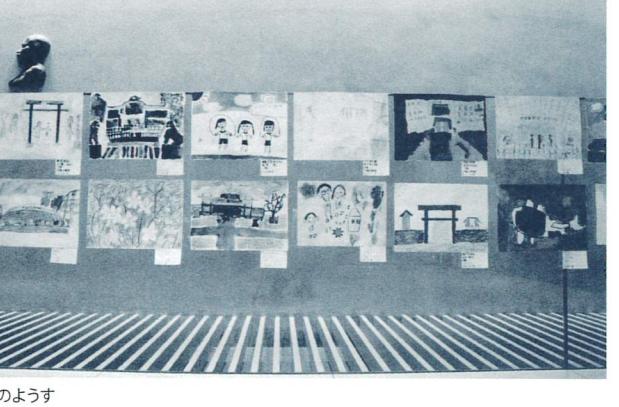
千駄木こどもギャラリーを開催しました

コレクション展「近所のアトリエ」動画

「記念館がみんなのアトリエ! 千駄木こどもギャラリー」を開催しました。

坂の画家・長原孝太郎と鷗外に合わせて、原孝太郎の交流に加え、文京区には文学家だけでなく美術家も多く暮らした土地であつたことを親子で知つてもらおう機会にすべく、当館を皆さんのがアトリエに見立てて近隣児童を中心に作品を募集しました。

家族や友達、近所の風景や思い出の時間が描かれた107点もの力作が集まり、3月20日から4月7日まで、応募作品の全てを館内エントランスに展示しました。



展示のようす

人から、一人一人、作品のストーリーや思いを聞き、着眼点の多様さや想像力の豊かさに圧倒されました。当館で初めて行った児童画展、ご協力頂きました汐見地区町会連合会、小学校、小学校PTA他の皆様に、改めて御礼申し上げます。

人から、一人一人、作品のストーリーや思いを聞き、着眼点の多様さや想像力の豊かさに圧倒されました。当館で初めて行った児童画展、ご協力頂きました汐見地区町会連合会、小学校、小学校PTA他の皆様に、改めて御礼申し上げます。

恵まれませんでしたが、4月半ば頃から一気に気温が上昇し、あつという間に満開になりました。ゴールデンウイーク近くになると、境内のつつじ苑には多くの方が押し寄せて、不忍通りに届くほどの大行列でした。当館では例年、会期中につつじ祭りのパンフレットが「根津権現かいわい浪漫ちづくマップ」をご提示頂くと、観覧料およびカフェドリンクが2割引きでご利用頂けます。来年もつつじ祭りにご参加の際は、当館にも併せてお越しください。

恵まれませんでしたが、4月半ば頃から一気に気温が上昇し、あつという間に満開になりました。ゴールデンウイーク近くになると、境内のつつじ苑には多くの方が押し寄せて、不忍通りに届くほどの大行列でした。当館では例年、会期中につつじ祭りのパンフレットが「根津権現かいわい浪漫ちづくマップ」をご提示頂くと、観覧料およびカフェドリンクが2割引きでご利用頂けます。来年もつつじ祭りにご参加の際は、当館にも併せてお越しください。



展示のようす



講評会のようす



展示のようす

会期中の3月23日には「小さな画伯の作品解説・講評会」を開催。参加した作者本

ンスでいかわ復興応援マルクト「いかわ伝統工芸品祭」を行いました。当館では普段見られない商品が並び、多くの方に関心を持って頂きました。

今回貴重な商品をご提供いただいた皆様に感謝を申し上げると共に、この先も伝統工芸が引き継いでいかれることを心より願っています。また、被災地域の皆様の安全と、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

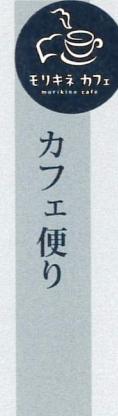


ショッピング便り

4月13日より、受付ショッピング、モリキネカフェでのキャッシュレス決済が可能となりました。これまで現金のみの対応でしたが、今後はクレジットカード決済、交通系ICカード決済、QRコード決済など幅広くご利用いただくことが可能です(各決済未対応ブランドあり、チャージ・ポイントにてご対応していません)。鷗外マルクトなど館外での販売イベント参加費などのお支払は対応していません。お菓子にドリンク、解説カードが付いて税込1,000円です。

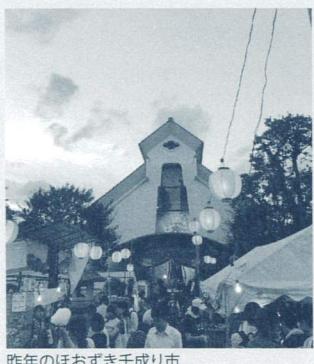


お菓子にドリンク、解説カードが付いて税込1,000円



カフェ便り

4月13日より、モリキネカフェでは期間限定メニュー「鷗外先生のみみずく」とソーダフロートの販売を開始しました。期間限定メニューは、特別展「教壇に立った鷗外先生」の開催に合わせて、「鷗外先生」が描いた館蔵の絵皿を、和菓子で再現することを試みたものです。展示室にある絵皿には、中央にみみずくが描かれ、その周りに星があしらわれています。期間限定メニューでは、みみずくを練り切りにし、星を干菓子とこんな感じで表現しました。練り切りと干菓子は、文京区本郷にある菓子店「㐂久月」にお願いしました。絵皿のみみずくとは少し違いますが、愛らしい姿が好評でした。ソーダフロートは例年より早めの開始となりました。こちらは10月6日までの販売です。次回コレクション展の限定メニューもお楽しみに。



20、21日は、小石川で「文京朝顔・ほおづき市」が行われます。朝顔市は徳川家ゆかりの寺院・傳通院、ほおづき市は「こんにゃくえんま」で知られる源覚寺がメイン会場となっています。販売はもちろんのこと、品評会や伝統芸能などの催し物も多く、一日楽しむことができます。

ご来館のついでに、夏の風物詩を楽しんではいかがでしょうか。



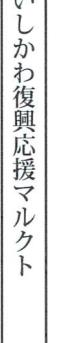
7月は文京区内でほおづき市が開催されます。

9、10日は、大観音で知られる千駄木・光源寺で「四万六千日 ほおづき千成り市」が行われます。「四万六千日」は鷗外誕生日の翌日7月10日に行われる觀音菩薩の縁日を指しており、この日に参詣すると四万六千日の功德が得られると言われています。法要、奉納演奏、ほおづきの販売だけでなく、焼きそばやヨーヨーすくい、わたあめ等の屋台が境内に出店されます。近隣のお店や有志の方々で作り上げる縁日。当館もモリキネカフェとして出店します。9日は19時、10日は18時30分までの開催です。



今年は5月から夏日になる日もあり、7~8月の夏本番にはいつたいどれほどの暑さになるのかと早くも心配されます。とは言え、気温が高くて過ごしやすい気候の日が多く、「ゴルデンウイークの連休中には多くの能登上布、七尾市の和ろうそく、珠洲市の珠洲焼、加賀市山中の山中塗、金沢市の金箔ジユエリーなど、各所からご協力を得て、4月24日から6月30日まで、エントラ

いしかわ復興応援マルクト



「いしかわ伝統工芸品祭」

2024年は、文京区と金沢市の友好交流都市協定を締結して5年目を迎える記念年にあたります。当館でも金沢市を紹介するイベント開催を予定していましたが、1月に起つた能登半島地震を受けて、金沢市だけなく石川県全体の伝統工芸品を紹介するイベントを開催することにしました。震災後まだ落ち着かない状況の中、能登町の能登上布、七尾市の和ろうそく、珠洲市の珠洲焼、加賀市山中の山中塗、金沢市の金箔ジユエリーなど、各所からご協力を得て、4月24日から6月30日まで、エントラ



館前

なりました。

当館では、大観音通り側の館前スペースと講座室とに、13店の「店主さん(=出店者)」が集合しました。加えて当館も「モリキネBOOKS」の名前で出店し、職員で持ち寄った鷗外作品や近代文学作品の古本を並べました。5会場他を巡るスタンプラリーも行われるなど、この規模での開催はコロナ禍以降初のことでした。古本好きの方々が楽しそうに谷根千を巡っていらっしゃる姿が印象的でした。

なりました。

当館では、大観音通り側の館前スペースと講座室とに、13店の「店主さん(=出店者)」が集合しました。加えて当館も「モリキネBOOKS」の名前で出店し、職員で持ち寄った鷗外作品や近代文学作品の古本を並べました。5会場他を巡るスタンプラリーも行われるなど、この規模での開催はコロナ禍以降初のことでした。古本好きの方々が楽ししそうに谷根千を巡っていらっしゃる姿が印象的でした。

当館では公式SNSで最新情報を発信しています。イベント情報、開催中の展覧会場より展示資料紹介、カフェのおすすめメニュー、庭園の植物の情報など様々なことをお知らせしていますので是非フォローしてみてくださいね。

[Facebook](#) moriogai.kinenkan
[X \(旧Twitter\)](#) @bunkyo_moriogai
[Instagram](#) @moriogaikinenkan
[YouTube](#) 文京区立森鷗外記念館

* * *

ださい。

今年は5月から夏日になる日もあり、7~8月の夏本番にはいつたいどれほどの暑さになるのかと早くも心配されます。とは言え、気温が高くて過ごしやすい気候の日が多く、「ゴルデンウイークの連休中には多くの能登上布、七尾市の和ろうそく、珠洲市の珠洲焼、加賀市山中の山中塗、金沢市の金箔ジユエリーなど、各所からご協力を得て、4月24日から6月30日まで、エントラ

コレクション展「近所のアトリエ」動画

「記念館がみんなのアトリエ! 千駄木こどもギャラリー」を開催しました。鷗外と長原孝太郎の交流に加え、文京区には文学家だけでなく美術家も多く暮らした土地であつたことを親子で知つてもらおう機会にすべく、当館を皆さんのがアトリエに見立てて近隣児童を中心に作品を募集しました。

家族や友達、近所の風景や思い出の時間が描かれた107点もの力作が集まり、3月20日から4月7日まで、応募作品の全てを館内エントランスに展示しました。

あつたことを親子で知つてもらおう機会にすべく、当館を皆さんのがアトリエに見立てて近隣児童を中心に作品を募集しました。

家族や友達、近所の風景や思い出の時間が描かれた107点もの力作が集まり、3月20日から4月7日まで、応募作品の全てを館内エントランスに展示しました。

これからの催しもの

催しは◎以外は全て事前申込制です。各申込締切日必着でお申込みください。いかでか、当館までお問い合わせください。

★応募多数の場合は抽選とさせていただきます。
悪天候等やむを得ない事情により、日程・講師・内容を変更する場合があります。

7月6日(土)、7日(日) 11:00 ~ 17:00

七タイイベント ◎

会場: 当館前、エントランス 料金: 無料

期間中、館内に短冊作成コーナーと筐を設置します。

7月9日(火) 9:00(早朝開館) ~ 17:30(最終入館)

鷗外忌記念行事 ◎

鷗外の命日(7月9日)に展覧会を観覧された方に、オリジナルしおりをプレゼントします。

8月3日(土) 10:00 ~ 19:30(最終入館) ※延長開館

文京区民無料観覧日 ◎

文京区在住・在学・在勤の方は無料で展覧会を観覧いただけます。
住所が記載されている身分証明書をご提示ください。
当日は20:00まで開館を延長します。(最終入館19:30)

8月31日(土) 14:00 ~ 15:30

朗読会「『阿部一族』を読む」

朗読: 内木明子氏(朗読家、早稲田大学・相模女子大学非常勤講師) 会場: 講座室 定員: 50名 料金: 1500円 申込締切: 8月19日(月)必着
映画化、舞台化もされた、鷗外歴史小説の代表作『阿部一族』を朗読いただきます。

9月16日(月・祝) 14:00 ~ 15:30

展示関連講演会「鷗外にとって歴史史料とは」

講師: 藤田覚氏(東京大学名誉教授) 会場: 講座室 定員: 50名
料金: 無料※要本展観覧券(半券可) 申込締切: 9月2日(月)必着

鷗外は史料を尊重し「歴史其儘(そのまま)」に書きましたが、歴史事実とはかなり異なります。依拠史料から理由を探ります。

7月13日(土) 14:00 ~ 15:30

鷗外忌記念講演会

「140年前のドイツ留学と森鷗外 ——自己探究と文学憧憬」

講師: 林正子氏(岐阜大学名誉教授) 会場: 講座室 定員: 50名
料金: 1000円 申込締切: 6月28日(金)必着

140年前ドイツへ留学した鷗外、当時の日本とドイツの比較、また留学は鷗外に何をもたらしたかなど、お話をいただきます。

8月25日(日) 13:00 ~ (30分程度)

「夏の子ども向けギャラリートーク」◎

会場: 展示室1

小学4年生以上対象。ワークシートを手に、当館学芸員と共に鷗外の生涯(常設展示)をめぐります。申込不要、高校生以上の方は当日の展示観覧券が必要です。

交通案内



●電車をご利用の場合

- 東京メトロ千代田線「千駄木」駅 1番出口 徒歩5分
- 東京メトロ南北線「本駒込」駅 1番出口 徒歩10分
- 都営三田線「白山」駅 A3番出口 徒歩15分
- JR線・京成線「日暮里」駅 西口 徒歩15分

●バスをご利用の場合

- 都バス 草63番系統「千駄木一丁目」下車 徒歩1分
- 都バス 上58番系統「団子坂下」下車 徒歩5分
- B-ぐる千駄木・駒込ルート「19特養ホーム千駄木の郷」下車 徒歩5分

*一般の駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4 TEL: 03-3824-5511
URL: <https://moriogai-kinenkan.jp>

開館時間 10:00 ~ 18:00 (最終入館は17:30)

休館日 每月第4月・火曜日(祝日の場合は開館、例外あり)、
年末年始(12月29日~1月3日)、及び展示替期間、煙蒸期間等